

教室から世界へ！かごしまグローバルクラスルーム事業 海外派遣 報告書 - オーストラリア編

○ 日程：令和5年11月19日（日）～11月25日（土）（5泊7日）

○ 行程表：

日付	内容
11月19日（日）	出発
11月20日（月）	■実地研修 ミセスマッコリーズチェア 世界遺産ブルーマウンテンズ シーニックワールド □ホームステイ
11月21日（火）	■学校訪問 Mary Mackillop College Wakeley 1日目 （英語研修/生徒間交流等） □ホームステイ
11月22日（水）	■学校訪問 Mary Mackillop College Wakeley 2日目 （英語研修/生徒間交流等） □ホームステイ
11月23日（木）	■実地研修 セントメアリー大聖堂 ロイヤル植物園 フィッシュマーケット □ホームステイ
11月24日（金）	■実地研修 オペラハウス ロックス地区散策 タロンガ動物園（フェリー移動） □ホームステイ
11月25日（土）	帰国



Mary Mackillop College Wakeley での授業の様子



シドニー市内での実地研修

○ 生徒の報告

「見て動いて感じるオーストラリア」

羽田空港から機内泊の末、シドニーに到着。どこを見ても、目に入る文字は全て英語で、「これが英語圏の世界…！」と初めての海外に興奮が抑えられなかった。また、気候は南半球なのでオーストラリアはちょうど夏に差し掛かる頃だったが、日本の様にじめじめとした感じはあまりなかった。

研修1日目は、主にオーストラリアの歴史を学んだ。ミセスマッコリーズポイントでは、ガイドの方から、その歴史や日本との戦時の関係を聞くことができ、教科書には載っていない番外編のような興味深い話を沢山知ることができた。

そこから車で移動し、次に訪れたのは、世界遺産のブルーマウンテンズ。そこに位置するシーニックワールドでは、世界一勾配の激しいトロッコに乗った。山の斜面を急勾配で滑り、スリル満点だったが、ガラス越しに見える自然の眺めはとても綺麗だった。ブルーマウンテンズにそびえたつ三つの崖、スリーシスターズには、オーストラリアの先住民・アボリジニの人々が古くから伝えてきた逸話が沢山あった。

研修を終え、ホスト宅へ向かった。私のホストファミリーは、子供が二人いて、帰宅後も一緒に遊んだ。発音や分からない単語などの壁で、通じないこともあったが、バディの生徒と相談し合いながら、なんとか会話が続けられてとても楽しかった。

日本と異なる国の歴史の奥深さや、英語で上手く伝えられなくても試行錯誤して伝えようとするものの大切さを感じることができた。
(長田中学校 倉田)



「現地の学生との交流」

私たちはオーストラリアに到着した2日目と3日目に、現地の学校「Mary Mackillop Catholic College」を訪問した。

英語、芸術、数学、宗教（映画）の授業体験をしたり、バディの子たちに学校を案内してもらったりした。オーストラリアの学校では、2限目と3限目の間にはモーニングティータイムがあり、皆おやつなどをとる時間があったことに驚いた。日本の学校とは大きく異なり、日本にもあればいいと感じた。昼食にはホストファミリーに作ってもらったランチボックス（サンドイッチなど）を食べた。日本より量が少なく感じたが、その分食べる頻度が多いのだろうと思った。

3日目の最後の時間には、鹿児島についてプレゼンテーションを行った。現地の生徒に鹿児島について知ってもらい、また自分の英語を聞いてもらう良い機会だった。その後、生徒たちと話す時間があり、多くのことを英語で話すことができた。自分の英語力を試す良い時間になった。同じく鹿児島から派遣された生徒とオーストラリアの生徒の話聞きながら、私も積極的に英語で話すことができたことが嬉しかった。また、聞き取れなかったり、自分の言いたいことを英文でその場で言えなかったりなどの課題を見つけることができた。今後の英語学習の中で、聞き取る力・言葉にする力・表現する力を重点的に勉強していきたい。現地の友人も作ることができ、とても充実した学校交流となった。

（伊集院高校 鹿丸）



「シドニー市内を見て回って」

私たちは現地視察でシドニー市内にあるセントメアリー大聖堂やロイヤル植物園、フィッシュマーケットを視察することができた。

セントメアリー大聖堂では建物の中を見ることができ、中には、繊細なステンドグラスの絵や女性の像などが沢山あった。どれも美しく、輝いて見えた。日本にはカトリックの教会があまりないため、この場所を見学でき良い経験になった。

ロイヤル植物園では日本では見ることのできない植物が多く、とても興奮した。また、写真映えるスポットも多く、子どもから大人まで楽しむことができる場所だった。そして、最も驚いたのは植物園の中にあつた大きな木の形だ。普通の木の根は土の中に埋まっているが、この木は幹から根が出ていて独特な形をしていた。珍しい木を見ることができ、貴重な経験となった。

フィッシュマーケットではオーストラリアの代表的な料理「フィッシュアンドチップス」を食べることができた。フライドポテトの上に白身魚のフライがあり、ボリューム満点だった。また、ここは海が近くにあつて漁港でもあり、新鮮な魚がそのまま売られていて、すごく大きな市場だった。寿司も売られていて、日本発祥の食べ物が売られていることに親近感がわいた。

この日の現地視察で、日本では経験できないことを見たり、聞いたり、食べたりすることができた。また、オーストラリアと日本の違う点も多く、新たな発見があつた。(高山中学校 今井)



「オーストラリア滞在の5日間」

研修5日目、私たちはオペラハウスへ向かった。私はオペラハウスとハーバーブリッジの大きさに驚いた。まさにシドニーを象徴する存在だった。その後、タロンガ動物園まではフェリーで向かった。その際、海に面しているオペラハウスの側面や裏側も見ることができた。

次に訪れたロックス地区は、オーストラリアの発祥地であり、昔ながらの石造りの建物が多く雰囲気のあるいい場所だった。ロックス地区では、土日にロックスマーケットが開催されるらしく、またオーストラリアに来た時はマーケットにも行ってみたいと思った。

最後に行ったタロンガ動物園には多くのかわいい動物がいた。オーストラリア特有の動物が多く、コアラとカンガルーも見ることができた。その時のコアラは全て寝ていたが、ガイドによると、コアラは1日18時間ぐらい眠るらしいとのことだった。起きている姿を見るのは珍しいのだと思うことにした。

最終日の研修も充実していた。私はホームステイで、はじめは緊張して上手く話せず、聞き取れない言葉も多かったけれど、5日間、ホストファミリーと過ごすことで、彼らと打ち解け合うことができ、とても仲良くなれたと思う。そして自分のコミュニケーション能力も少し成長できたと感じた。初対面では、はじめは緊張するが、緊張するときこそ、笑顔でコミュニケーションをとることが仲を深める1つのポイントだと感じた。今回の経験を今後に活かしていきたい。

(出水高校 田中)

